

## 1 活動の概要

今年度は、(1) 持続可能な都市とくらしに関する調査を継続し、(2) 地域の活動主体と地域課題を連携して扱い、市民活動のパワーをシェアしつつ強化し、(3) 気候変動の影響があらわれ高齢(少子)社会の課題が重なる典型的なエリアを再生し持続可能なまちとする試みに加わることを目標としてワークショップ及び講演会、総会を実施した。それらの準備のための理事会を開催した。

## 2 特定非営利活動に係る事業

### (1) 講演会

- ・2023年5月13日総会の際に講演会を開催した。14時～15時、宝塚市男女共同参画センター近世の漁村に由来する市街地の生活環境の整備の方策  
— 佃島の歴史を振り返り課題と未来を展望する —  
話題提供者 見市 晃 (元追手門学院大学教授)  
コメンテータ 石塚昌志 (元復興庁宮城復興局技監)
- ・2023年10月頃に予定した講演会は見送りとなった。

### (2) ワークショップ1:「持続可能な関西都市圏2030とその先(Beyond 2030)」に加える事項

- ・関西圏ではベイエリアの開発整備、空港ネットワークと広域観光の推進、大阪関西万博に関係した広域イベント、鉄道および道路のネットワーク形成等への関心の高まりに応じ、予備的検討をおこなった。

### (3) ワークショップ2:地域の活動主体と地域課題を共に扱い、市民活動のパワーをシェアし強化

- ・宝塚・旧安田邸の歴史と文化を遺す会の市民活動の支援を特徴づける建築模型(紙製)を作成する範囲と対象(まずは協力の得られやすい旧高崎邸、高添邸、正司邸等)を拡大するべく準備をおこなったが、現地の市民団体との調整に至らなかった。一世紀の間の住文化の変容と継承の側面として、くらしのアート(絵画・クラフト、音楽・映像、文芸と学術、花とガーデニング、食・クッキング、健やか・安らか、等)とウェルネスと心身の様式(文化)変容をとりあげる可能性を検討し、大正から昭和前期に展開された、ヴォーリス住宅等の欧風の住まいへの関心と花屋敷の山林精常園として開発され運営された別所彰善の心身一如のレーベンアトリエづくりを調査した。
- ・2023年12月2日に「牧野富太郎と阪神間モダニズム」(宝塚・旧安田邸の歴史と文化を遺す会主催)に参加し、牧野富太郎の関西での採取や交流を研究している講師鈴木武さん(兵庫県立人と自然の博物館)および高崎記念館(東洋食品研究所事業推進部)、日下邸関係者との意見交換を行った。
- ・宝塚市内での子ども食堂を通したくらしの支援につき、ソーシャルネットワークと社会関係資本の様相を解釈し、より包摂的な支援の在り方について、予備的な検討をおこなったが、新型コロナウイルス感染症からの回復のその後の社会情勢のため具体的着手には至らなかった。

#### (4) ワークショップ3：気候変動の影響と高齢社会の課題が重なる典型エリアを再生する試み

・スマートアンブレラの設置を気候変動への適応策として捉えてきた。熱波対策は万博の木製リングの万博終了後の活用策とも関係するが、再構築の経費や周辺整備の未成熟から気候変動対策と絡めた検討を協会関係者が取り上げるにはいたっていない。

・大阪市西淀川区佃島の町内会防災リーダーの取り組みと連携し、地域の人々とともに防災ウォーキングを開催し、住民の防災ワークショップに参加して地域課題を共有することを試みた。

その第一弾として、下水・雨水の排水経路を確認しながら佃島の排水を担う佃第2抽水所を目指した「佃の防災とまち歩き」を2023年9月3日に実施した。参加者は29人（うち3丁目住民7人、防災リーダー16人、イ・キューブ会員6人）であった。緑の乏しい佃であるが、約1時間半のまち歩き中に植物と昆虫で85種の生き物が確認できた。

佃地域活動協議会災害救助部会主催で2024年3月10日に行われた「避難所開設訓練」に、イ・キューブ会員5人が参加した。学校を避難所とする場合の問題点が見えてきた。

### 3 事業実施体制

#### (1) 会議に関する事項

##### ① 総会

2023年5月13日に総会を開催し、定足数を上回る出席者（オンライン会議出席者を含む）11人の出席で成立した。

議題 1) 令和4年度事業報告書、令和4年度活動計算書（決算書（収入・支出計算書）、貸借対照表、財産目録）について事務局から提案があり、監査報告を受けて、これら令和4年度報告について、出席者全員の賛成（規定上の賛成多数）で承認した。

議題 2) 令和5年度事業計画書、令和5年度予算書について、事務局から提案を受け、協議して、出席者全員の賛成（規定上の賛成多数）で承認した。

##### ② 理事会

2024年3月29日 午後1時—3時 オンラインで開催。理事3名出席

議題 総会提出資料の検討と理事会として資料の内容の検討。新規会員の扱いについて検討。

#### (2) 事務局体制

① 事務局長：古武家 善成

会計担当：金子 泰純

#### (3) 会員

① 正会員 13名 (2024年3月31日現在)

以上